

アメリカ・ミシガン州駐在員便り

2007/01/21 駐在員：山川 祐司

相互派遣プログラムによる交流

1月中旬、ミシガン州デウィット市を同市と姉妹都市関係を持つ甲賀市の中学生が相互派遣プログラムによって訪問し、17日（木）夜に開催された送別会に出席させていただきました。中学生たちはわずか一週間の滞在でしたが、ホームステイをしながら現地中学校での活動などに参加し、貴重な経験を積まれたようです。翌日の帰国を前に、共に多くの思い出を作ったホストファミリーと涙ながらに別れを惜しむ姿も見られました。ミシガン州の都市と姉妹関係にある本県の他の市町でもこうしたプログラムを熱心に運営しておられる所が多く、新聞で訪問の記事を見かけることもあれば、今回のように行事にお呼びいただくこともあります。また、県教育委員会による高校生の相互派遣プログラムもあって、昨年9月には20名の生徒がミシガン州を訪問しました。



送別会の中では、ホストファミリーとその家庭に滞在した中学生と一緒に順番で前に出て、互いへの感謝の気持ちなどを述べました。基本的に式でのスピーチは通訳を介し、それぞれの母国語でおこなわれましたが、ホストファミリーの方から「我々は言葉の壁を乗り越えた」という趣旨のコメントが相次ぎました。